

2024 年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

岐阜医療科学大学

2025 年 5 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
- 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学動物実験規程、岐阜医療科学大学動物実験委員会規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

関係法令となる「動物の愛護及び管理に関する法律（昭和 48 年法律第 105 号）」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（平成 18 年環境省告示第 88 号）」及び「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（平成 18 年文部科学省告示第 71 号）」、並びに日本学術会議が作成した動物実験の適正な実施に向けたガイドライン（平成 18 年 6 月日本学術会議策定）に基づき、「岐阜医療科学大学動物実験規程」及び「岐阜医療科学大学動物実験委員会規程」が定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
- 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会を設置していない。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学動物実験委員会規程、岐阜医療科学大学動物実験規程、動物実験委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

「岐阜医療科学大学動物実験委員会規程」及び「岐阜医療科学大学動物実験規程」に基づき、基本指針に定める 3 要件の委員で構成される動物実験委員会が設置されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学動物実験規程、動物実験計画申請書、動物実験終了・中止報告書、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、施設等廃止届

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

「岐阜医療科学大学動物実験規程」において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きについて定められ、「動物実験計画申請書」「動物実験終了・中止報告書」「飼養保管施設設置承認申請書」「実験室設置承認申請書」「施設等廃止届」等、各種様式も整っている。

4) 改善の方針、達成予定期

特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学放射線障害予防規程、岐阜医療科学大学遺伝子組換え生物等の実験実施規程、岐阜医療科学大学病原微生物等安全管理規程、岐阜医療科学大学化学物質安全管理規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

「岐阜医療科学大学放射線障害予防規程」「岐阜医療科学大学遺伝子組換え生物等の実験実施規程」「岐阜医療科学大学病原微生物等安全管理規程」「岐阜医療科学大学化学物質安全管理規程」等が定められ、安全管理に注意を要する動物実験について適正に管理されている。また、2 キャンパスに設置されている実験動物飼養保管施設に対する向精神薬試験研究施設設置者登録も行われている。

4) 改善の方針、達成予定期

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学動物実験規程、飼養保管施設設置承認申請書、実験動物飼養保管施設一覧、実験動物飼養保管マニュアル（関キャンパス）、動物実験施設利用手順書（可児キャンパス 8 号館）、実験動物の逸走防止及び逸走時の対応マニュアル（岐阜医療科学大学）、飼育室緊急時対応マニュアル（岐

阜医療科学大学)、飼育室緊急時対応フローチャート（可児キャンパス）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物飼養保管施設は、地理的に離れた 2 キャンパスに設置されており、設置申請の際に委員会が事前の調査の上、学長が承認している。また、各施設の実験動物管理者として、動物実験委員会の委員長、副委員長が置かれている。各施設には飼養保管及び施設利用に関するマニュアルや逸走時、緊急時に関するマニュアルも整備されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学動物実験委員会規程、動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

学内グループウェアにて申請された「動物実験計画申請書」を動物実験委員会で審査している。審査会議は持ち回りにて行っており、議事録も保管されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

岐阜医療科学大学動物実験規程、動物実験計画申請書、動物実験終了・中止報告書、動物実験の自己点検票（様式2－1）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

2024年度は36件の動物実験計画が申請され、委員会の審査を経て学長が承認している。「動物実験終了・中止報告書」「動物実験の自己点検票（様式2－1）」も提出されており、適正に動物実験を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

<input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物飼養保管記録簿、第一種圧力容器性能検査結果報告書、遺伝子組換え実験施設指定申請書・許可通知書、物実験計画申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2024年度の動物実験は安全に実施されており、事故等の発生はない。必要な安全設備（感染実験室、陰圧飼育装置、安全キャビネット、オートクレーブ等）が整備され、第一種圧力容器の性能検査も毎年実施されている。また、安全管理に注意を要する動物実験については、関連する委員会の間で、必要な情報共有がされており、2024年度は遺伝子組換え動物実験が7件実施され、感染動物実験、放射線照射実験、発癌・化学物質投与実験は実施されなかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物飼養保管マニュアル（関キャンパス）、動物実験施設利用手順書（可児キャンパス8号館）、実験動物の逸走防止及び逸走時の対応マニュアル、飼育室緊急時対応マニュアル、飼育室緊急時対応フローチャート（可児キャンパス）、実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2－2）、
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物の飼養保管は、飼養保管手順書、マニュアル等に従って適正に実施されている。また、各飼養保管施設において、実験動物飼養保管状況の自己点検を行っており、微生物モニタリングも実施している。2024年度において実験動物飼養保管状況の自己点検で重大な問題は認められない。
4) 改善の方針、達成予定時期 施設毎に整備されているマニュアルについて、共通化できる内容を整理し、マニュアルの改訂を行っていく。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

飼養保管施設視察報告書、動物実験施設入退室者管理記録（可児キャンパス）、施設設備管理状況報告書（可児キャンパス）、動物実験施設設備点検報告書（可児キャンパス）、温度・湿度データロガー【おんどとり】（可児キャンパス）、第一種圧力容器性能検査結果報告書（可児キャンパス）、動物実験施設＜入室・温度・湿度・差圧＞管理記録（関キャンパス）、衛生管理業務実施報告書（関キャンパス）、実験動物施設の過酢酸系除菌剤によるドライフォグ除菌作業報告書（関キャンパス）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各飼養保管施設に対する視察も実施され、施設管理に対する記録も整備されており、施設等の維持管理は適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練実施案内、教育訓練資料・動画、動物実験教育訓練受講者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験実施者に対する教育訓練を義務付けており、オンデマンド方式で実施している。また、教育訓練には必要とする項目・内容が含まれている。例年、公私立大学実験動物施設協議会主催の実験動物管理者の教育訓練に参加しているが、2024 年度はスケジュール等の都合により参加できなかつた。
4) 改善の方針、達成予定時期 公私立大学実験動物施設協議会または公益社団法人日本実験動物学会が主催する実験動物管理者対象の教育訓練研修会に参加する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 2024 年度自己点検・評価報告書、岐阜医療科学大学ホームページ「動物実験に関する情報公開」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

毎年、動物実験委員会が基本指針への適合性・飼養保管基準への遵守状況について自己点検・評価を行い、学長に報告している。また、機関内規程、自己点検・評価の結果、外部検証の結果、実験動物の飼養保管状況について、岐阜医療科学大学ホームページ「動物実験に関する情報公開」にて情報公開を行っている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。